

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

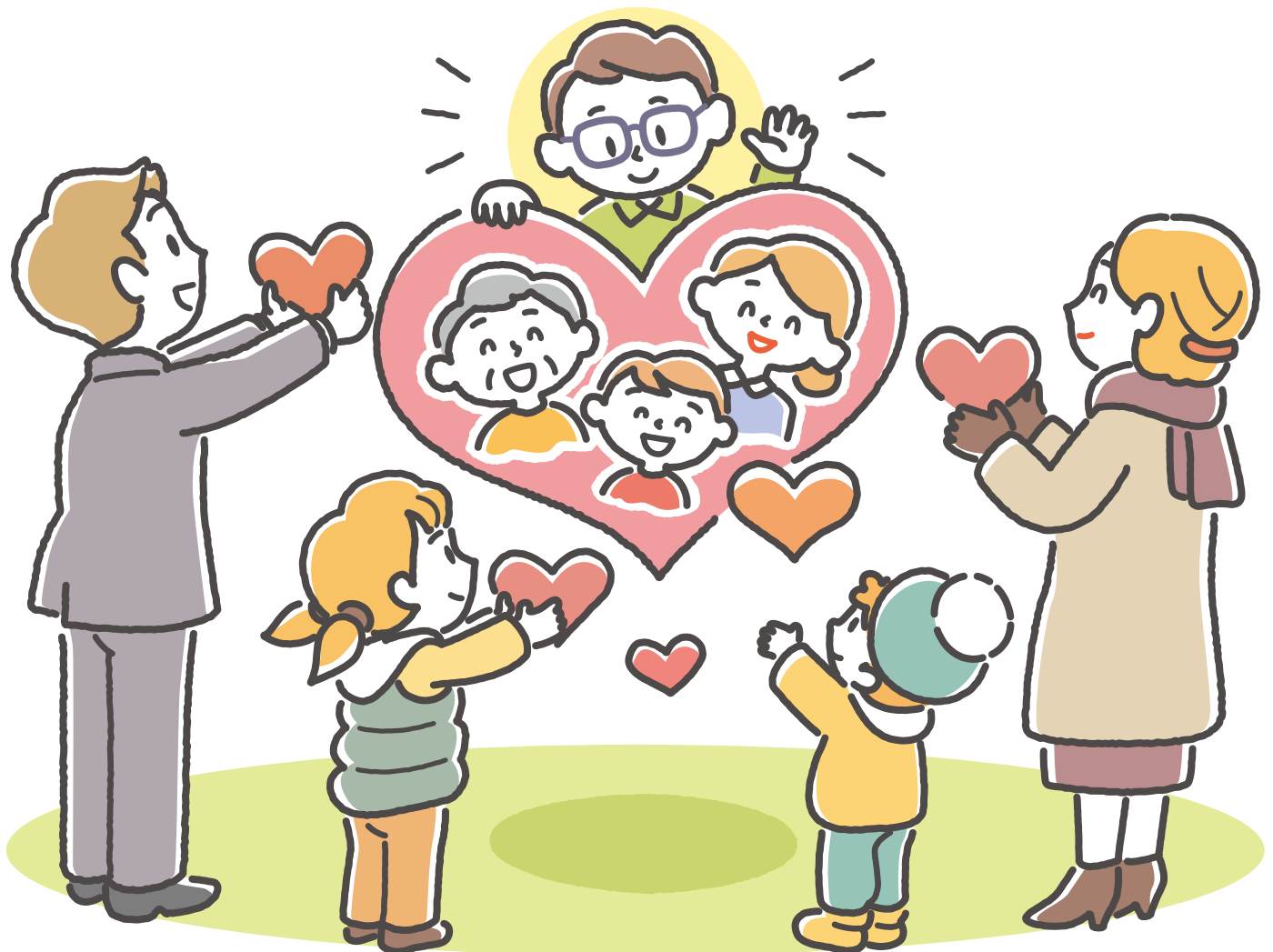
ウェルおおさか

vol. 148 2024年2月号
隔月発行(偶数月1日)

特集

「ファンドレイジング」元年！
～支援が広がる！届く！時代へ～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



「ファンドレイジング」元年!

～支援が広がる!届く!時代へ～



近年、少子高齢化が急速に進み、働いて税金を納める世代の減少とともに高齢者が増加し、国の社会保障費が拡大しています。そんな中で、自治体の福祉業界への補助金等が減少するところも増えてきました。そこで、いわゆる非営利団体が活動に必要な資金を民間から集める手段として、今、脚光を浴びているのが「ファンドレイジング」です。各種福祉団体でも、その活用を模索していますが、まだまだ理解されていない点が多いのが現状です。そこで今回は、専門家である久津摩和弘さんと青山織衣さんに「ファンドレイジング」について、主に福祉団体が取り組む有用性や可能性をお聞きしました。

ファンドレイジングが、人材や資金を補う大きな力に

ファンドレイジングに似た言葉で混同されやすいのがクラウドファンディングです。どちらも広い意味では「資金調達」を目的としています。今回取り上げる「ファンドレイジング」は、非営利団体が活動するにあたって、その活動内容(社会課題の解決)に共感や賛同を得て、資金などの必要な支援を受ける総称です。社会課題解決への説得力ある説明を行うことで支援を求め、賛同が得られれば、課題解決まで参加し協力してもらう仲間を増やす効果も期待できます。「ファンドレイジング」は、活動に

おける人材不足や資金不足を補う大きな力になると注目されている取り組みです。一方、「クラウドファンディング」はファンドレイジングの手法の一つで、営利か非営利かは問わず個人や団体、企業が主にインターネットを通じて不特定多数の共感や賛同を得て資金を集める手法になります。

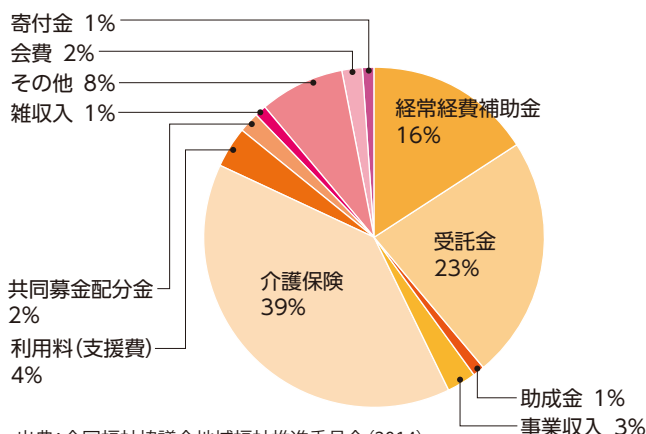
海外ではすでに一般的な「ファンドレイジング」の活用

何らかの組織(団体)が事業を行う場合、資金を集める一般的な手段としては、「寄付」「会費」「助成金・補助金」「事業収入」「(行政機関から業務委託を受けて得る)委託収入」「融資」があります。

今回はこのうち、国内外の福祉分野での活動状況について、自治体からのいわば「公的財源」と見受けられる部分と、個人や民間の企業・団体からの寄付などファンドレイジングによる活動で集めた資金も含まれる「民間財源」の部分を見ていきます。

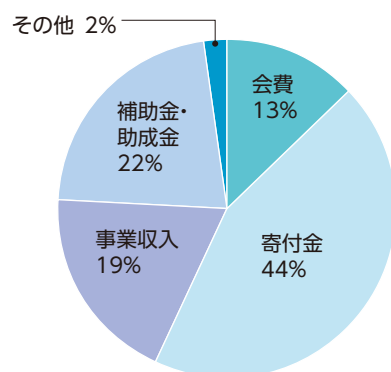
日本国内と海外の非営利活動を比べると、海外の方が民間財源をしっかりと集めて活用している傾向があります。海外の影響を受けている日本の国際協力活動を行うNPOの収入構造(グラフ②)においても「寄付金」や「会費」の収入割合が大きくなっています。一方、社協の活動(グラフ①)では、寄付金は1%、会費は2%に過ぎません。久津摩さんは「日

●グラフ①市区町村社協の財源(収入構成)構成の平均



出典: 全国福祉協議会地域福祉推進委員会(2014)
「平成25年度社会福祉協議会基本調査結果」

●グラフ②国際協力活動を行うNPOの収入構造



出典: 経済産業研究所「NPO法人実態調査」2005年

本では、公的財源の役割が重視され過ぎて、民間財源に十分着目してこなかった。しかし、海外のソーシャルワーカーや福祉団体は、公的財源があっても、民間財源を集めます。それは、両方がないと社会課題を解決できないと知っているから。公的財源は、“個人的なニーズへの支援”“数日から数ヶ月以内の事業化等による即応が求められる支援”“行政区域（所管区域）を超えた対応が必要な支援”など、その性質上、支援しづらいニーズがあります。海外では使途の自由度や独立性が高い寄付などの民間財源を積極的に活用してニーズに応え、社会課題を解決しています」と話します。残念ながら、日本では公的財源が使えないとわかった場合、あきらめざるを得ないと思い込んでいる傾向がありました。

行政の財源不足が顕著となり、その傾向が大きくなる中、「いよいよ国レベルでも動き始めた」と語る久津摩さんは、下記の例を挙げました。

「ファンドレイジング」推進に向けた国の動き

1. 「公的財源」で支援することが難しい性質の社会問題は「民間財源」で行うという財源の役割分担が整理されてきた。
2. 内閣府・文部科学省・厚生労働省による「こどもの未来応援基金」で寄付金を集めるなど、国レベルで寄付金を集める動きが出てきている。
3. 地域共生社会の実現のためにファンドレイジングが重視されるとともに、社会福祉士養成カリキュラムにもファンドレイジングが入った。

ファンドレイジングをうまく活用するには

このように、国もその重要性に注目し始めるとともに、「ファンドレイジングの活用」といった情報も見かけるようにな

今号の「ファンドレイジング」を特集するにあたり、認定ファンドレイザーの青山織衣さんにコーディネートをお願いしました。日本でのファンドレイジングにおける第一人者の久津摩和弘さん（P4に取材記事）をご紹介いただき、お二方には掲載内容についてもご協力いただきました。



■久津摩 和弘さん

一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワークCOMMNET 理事長、NPO法人日本ファンドレイジング協会理事／認定講師／全国福祉チャプター代表



■青山 織衣さん

社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局主幹、NPO法人日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザー、コミュニティワーカー、日本ファンドレイジング協会関西チャプター運営委員

りました。ただ、久津摩さんは、成功させるには重要なポイントがあると話します。「まず第一に、“そんなに困っている人がいるんだ”“私たちにも何かできることはないですか？”と言ってもらえるくらいに、社会課題をしっかりといてないに説明すること。次に、自分たちが行おうとしている事業内容がその課題解決につながることを説明し、理解してもらうこと。そして、自らの手で行った方が良い時はボランティア、福祉の専門家に任せられた方が良い時は寄付という形で、社会課題解決まで一緒に歩んでくれる仲間を集めていくのがファンドレイジングということです。そのため、ファンドレイジングは「フレンドレイジング」とも言われているのです。これは活動規模の大小は関係なく、地域の清掃や見守り隊、こども食堂の運営にも言えることです。

また、青山さんは「寄付の集め方は活動内容や規模、必要な金額などにより、“街頭での募金活動”“毎月の寄付者（マンスリーサポーター）などの募集”“イベントを実施しカンパを募る”などさまざまな形があります」「地域の活動などでは、『お金をください』と呼びかける難し

さを感じる方もいます。そんな時は、周囲のボランティア団体や社協などに相談してボランティア仲間を増やしたり、リサイクルできそうな物品を募って資金に変えることなどから始めてみては。仲間を少しずつ増やし、団体の取り組みを一人でも多くの人に知ってもらうことが協力の輪を広げる糸口になります」と話しました。全国の社会福祉協議会や、福祉団体などでは、ファンドレイジングの知識や技術を学び「ファンドレイザー」という認定資格を得て事業運営に関わり、実際に民間財源の確保につながる例も出てきています。このように、福祉分野における「ファンドレイジング」の必要性が高まってきています。今後、福祉分野で活動する皆さんや、「社会のために何か役立ちたい」と考えている皆さんが「ファンドレイジング」を活用した取り組みを行うことで、福祉分野の支援拡大につながればと、期待せずにはられません。

次のページからは、実際にファンドレイジングを活用して福祉活動に取り組んでいる団体の事例や、専門家からの提案やアドバイスをご紹介します。

“困った時に駆け込める、 みんなの居場所”

社会福祉法人ストローム福祉会 エリザベス・ストローム記念
山王こどもセンター 施設長 田村 幸恵さん

1964年に開設以来、約60年間、こどもたちを中心にさまざまな世代の人が集う居場所となっている山王こどもセンター。地域の方から次々に、ジュースや干し柿、みかんなどの差し入れが届きます。「こどもたちの姿を見て応援したいと思ってくれる人は多いんです」と田村さん。実は、2年前にピンチがありました。長年活動してきた築80年以上の長屋が老朽化し、限界を迎えていたのです。そこで挑んだのが、建て替え資金の500万円を目標に掲げたクラウドファンディング。当時を「仲間たちが、不安げな私を“絶対大丈夫!夢はかなう!”

と励まし、背中を押してくれて心強かった」と田村さんは振り返ります。結果は、目標金額を超えて590万円以上が集まり大成功。ただ、費用の総額には足りず、こどもセンターとしても「建て替えのための寄付金」を集め、合わせて約2,000万円を確保。その結果、魅力いっぱいの居場所が完成しました。夢が広がる一方で、「活動を継続していくには常に経済的な課題はあります」と田村さん。地域の方にクラウドファンディングの広報や支援をお願いし、たくさんの協力を得ることにつながりました。また、地域との合同行事も増え、協力関係



も深まりました。こどもたちとの活動をより多くの方に知ってもらうために見学者を受け入れたり、ホームページを充実させたり、さまざまな場で「こどもセンター」の意義を発信するなど広報活動にも余念がありません。「ボランティアの力にも助けられ、こどもたちの笑顔にも励まされて頑張ることができています。“困った時に誰でも駆け込める居場所”があることを知ってもらい、応援してほしい」。田村さんたちの取り組みは今日も続きます。

みんなの心にある「何かしたい」を、 こどもたちに届ける

「しま☆ルーム」代表 仲 憲一さん

「コロナ前の状態に、戻せていないのが課題ですね」と話すのは、放課後の学習支援や夕食の提供を行う「しま☆ルーム」代表の仲憲一さん。コロナ前は、毎週水曜日に約40人が宿題をしたり遊んだりした後、みんなでゆっくり食事を囲む時間がありました。親が働きに出て一人で食べるのが淋しい子や、居場所がない子がホッとできる場所でした。それがコロナ禍で状況が一変。会食が制限され、食材やお弁当を配布する形に。さらに、仕事が減り生活が苦しい人が食材を求め、登録者が約80人にまで増加したのです。「コロナ前の約40人分の食事は、ボランティアさんの手づくり。対象者が倍増し対応できなくな

りました」。そのため、現在はコロナ禍から支援を受ける地元のレストランと牛井チェーン店などからお弁当の提供を受けて会食を行っています。また80人を2班に分けるため、ゆっくりともいきません。新年からは、厚意に頼り過ぎない形に戻せないか、検討を進めているそうです。仲さんは、活動を続ける中で気付いたことがあるとのこと。「僕はここが地元。経営しているバーなどで、お客さんや仕事仲間と話して感じるのは、“困っている人のために何かしたい”と思っている人がとても多いこと。SNSなどで『しま☆ルーム』のことを発信したら、みなさん



▲仲さん(後列左から2人目)と「しま☆ルーム」のスタッフのみなさん。

が次々と協力したいと言ってくれた。寄付とか差し入れをくださる人もたくさんいました」。今では自身の活動を発信することで、協力の輪が広がることを実感しているそうです。

これから何かしたいと思っている人には、「活動をしている現場を見に行くこと。実際にやるのは簡単じゃないけど、それでもやりたいと思えたら、地域の社協などに相談すれば支援者や協力者をマッチングしてくれると思いますよ」とエールを送りました。

ファンドレイジングの活用で、福祉分野の支援を広げる。

「福祉分野のファンドレイジングの現状と課題」について、NPO法人日本ファンドレイジング協会の理事で同協会全国福祉チャプター代表を務める久津摩和弘さんに、お話をうかがいました。

大学を卒業後、都道府県社会福祉協議会で日常生活自立支援事業などに取り組んだ際に「予算不足でできないことが多い」と痛感し、海外のファンドレイジングを勉強し始めました。まず、欧米の福祉団体では資金調達の担当者としてファンドレイザーがいるのが一般的で、公的財源があっても民間財源も集めながら社会課題を解決していく「ファンドレイジング」は常識だったとのこと。そこで「これを日本に広めよう」と思い、活動を始めたそうです。久津摩さんは「国の財政の環境が厳しさを増し、福祉分野への補助金が減る傾向にあり、これは継続する可能性が高い」と話します。その理由として、「全国各地で税金を納める生産年齢人口の減少が進む一方、高齢者は増え続けるため、そこにはお金がさらにかかるようになり、行政はお金を出したくても出せない状況となっている」「2024年以降、世界の景気が悪化する可能性が高く、日本もその影響から逃れることは難しい」という点を挙げました。久津摩さんは「公的財源の役割は非常に重要であるものの、このように行政も苦しい状況で、いつまでも公的財源のみに頼った福祉活動を続けて、本当に福祉団体としての使命を果たしていけるのか、経営を成り立たせていけるのかについて、考えなければならない状況にある。そこで、ファンドレイジングなどを通して、公的

久津摩 和弘さん

主な活動歴：県社協、県共募(出向)を経て現職。赤い羽根共同募金が全国各地で展開する寄付つき商品企画「募金百貨店プロジェクト」創設者。日本の福祉業界初のファンドレイジング書籍「地域福祉とファンドレイジング」編者。国の府省の委員・講師、全国各地の社協、社会福祉法人等のアドバイザーなどをされています。(経歴はP2に掲載)

財源と民間財源の両方を増やすことが必要」と強調します。

活動への賛同を得ることで、ますます支援の幅が広がる

公的財源に比べて民間財源は、使途の自由度と独立性が高いため、公的財源では対応不可能なことも含め、さまざまなニーズに応えることが可能になります。

久津摩さんがアドバイザーをしている埼玉県三芳町社協では、ファンドレイジングで集めた寄付金によって、こどもの貧困対策を行うことで、自由度の高い支援が可能になりました。「カバンや着替え、お小遣いが用意できないので修学旅行に行けない」という児童を迎えに行き、一緒に必要なものを買い、お小遣いも渡して、修学旅行に行ってもらうことができました。「メガネが買ってもらえない」「3センチ小さい上靴を学校で履き続けている」「文化祭でみんなで作るTシャツ代が出せない」といったこどもたちにも、必要であれば給付します。こどもの医療費が無料の地域でも、健康保険が切れると10割負担となるため、高熱が出ても病院に連れて行ってもらえないことがあります。そのような場合も、三芳町社協は病院に行

くことを促し、社協が代わりに受付でお金を払います。これらの支援が共感と感動を呼んで寄付が増え、福祉活動がさらに拡大しています。「私は、“お金がない”であきらめない福祉活動が全国の現場で行われるようになることを目指しています」と久津摩さんは言葉に力を込めました。

ファンドレイジングを活用するために、やるべきこと

ただ、そのためにはファンドレイジングの知識と技術を学ぶことが必要で、お金のことを勘で行うことは難しいと注意をうながします。「社会課題を分かりやすく伝えて共感してもらい、解決策への理解を得て、“一緒に課題解決に参加したい”という仲間を地域に増やせるかが成功のカギになります。賛同者が増えれば自然にボランティアに加えて寄付なども増えていくわけで、お金は結果的についてくるものです」。久津摩さんは「ファンドレイジング協会では、ファンドレイジングの理論や先進的な事例などを教える各種講座を受けることができます。財源や担い手不足に困っている場合は、まずは学習してみましょう」とアドバイスを送りました。

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

「介護のしごと就職フェア」に出展しました！

江之子島コスモス苑さま
11/2 あべのハルカスにて



よどの里さま
11/22 AP大阪茶屋町にて



11月2日(木)にあべのハルカス、11月22日(水)にAP大阪茶屋町にて、「介護のしごと就職フェア」が開催されました。令和5年度からアシスタントワーカー導入に取り組んでいる3施設も出展し、就職希望者の方には面接も実施しました。

アシスタントワーカー相談コーナーでは、令和4年度から導入に取り組んでいる「江之子島コスモス苑」さまと「よどの里」さまにご協力いただき、一緒にブースを盛り上げていただきました。

現在勤務しているアシスタントワーカーの様子や状況を交えながら、わかりやすく、具体的に説明いただき、多くの方に興味、関心を持っていただくことができました。2日間とも大盛況で、計34名の方にお越しいただきました。ありがとうございました。



アシスタントワーカー導入に取り組んでいる施設は下記に掲載しております。「アシスタントワーカーの仕事を知りたい」「自分に合った働き方を探している!」そんな方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

令和5年度

社会福祉法人 大阪自彊館

特別養護老人ホーム ジュネス

〒533-0023
大阪市東淀川区
東淡路1-4-49
メゾン リベルテ
☎06-6325-3336



社会福祉法人 たらちね事業会

特別養護老人ホーム ファミリー

〒538-0032
大阪市鶴見区
安田2-1-27
☎06-6915-1717



社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団

特別養護老人ホーム ミネルヴァあべの

〒545-0011
大阪市阿倍野区
昭和町3-4-27
☎06-6629-1110



令和4年度

社会福祉法人 亀望会

特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑

〒550-0006
大阪市西区
江之子島1-8-44
☎06-6225-2662



公益財団法人 淀川勤労者厚生協会

介護老人保健施設 よどの里

〒555-0033
大阪市西淀川区
姫島2-13-20
☎06-6473-5152



社会福祉法人 今川学園

障がい者支援施設 今林の里

〒546-0001
大阪市東住吉区
今林3-1-87
☎06-6791-1211



※令和2年度、3年度の取組み施設については、センターホームページをご覧ください。

第8回 慢性腎臓病(CKD)セミナー WEB開催

プログラム

あいさつ 腎臓・高血圧内科部長 小西 啓夫

①CKD の治療～電解質異常に注意～ 腎臓・高血圧内科医長 北林 千津子

②薬がリスクにならないために～カルシウムと骨の薬～ 薬剤師 大塚 涼平

③腎臓を守るための食事～カリウム制限～ 栄養士 對馬 和



視聴日時

2024年2月27日(火) 12:00から3月12日(火) 12:00まで

視聴方法

①病院のホームページへアクセス

大阪市立総合医療センター

検索

②右のQRコードからアクセス

③下記視聴用URLを直接入力でも可能です

<http://onl.tw/qDdEWP8>



問合せ

大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター

〒531-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 ☎06-6929-1221(代表)

大阪市立十三市民病院 市民公開講座

参加費
無料

知ってもらいたい大腸がんのお話

日時▶3月9日(土) 10:30～

場所▶大阪市立十三市民病院 9Fすかいルーム

その他▶マスク着用 申込不要

大腸がんとは/がん検診 外科治療について

外科副部長 貝崎 亮二

日常の傷(きず)のケアを見直そう きれいに治すために

皮膚・排泄ケア認定看護師 奥田 典代

がんと栄養のお話 予防と治療中の食生活

管理栄養士 源氏 博子



問い合わせ先

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室 ☎06-6150-8000(代表)



講座案内

●市民向け講座

市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
社会福祉法人大阪社会医療センターの開設と歴史について ※下記に詳細記事あり	2月17日(土) 14:00～16:00	大阪市内在住・在学・ 在勤の方	大阪社会医療センター 付属病院 精神保健福祉士 奥村 晴彦	大阪社会医療センター付属病院は、あいりん地域(釜ヶ崎)において、経済的理由などで必要な医療を受けられない人たちに医療を提供してきました。今回は、大阪社会医療センターが果たしてきた役割と歴史について学びます。	定員:40人 締切:2月7日(水) 受講料:無料
いきいきライフセミナー 認知症のキホン ～自分らしく生きるために～	3月6日(水) 14:00～16:00	大阪市内在住・在学・ 在勤の方	医療法人 圓生会 松本診療所 院長 松本 一生	高齢化社会のなか、アクティブシニア世代を対象に、生活をより自分らしく充実したものにしてもらうための講座です。今回は認知症を理解し、自分らしく生きるための心の持ち方等を学びます。	定員:30人 締切:2月25日(日) 受講料:無料

●福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
よこいと座談会 (中堅職員)	3月11日(月) 13:30～16:30	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する入職後おおむね3～5年程度の職員	関西学院 聖和短期大学 准教授 立花 直樹 四天王寺大学 准教授 吉田 祐一郎	仕事に関する課題や悩みの共有や、情報交換を通して中堅職員同士の横のつながりを広げましょう。	定員:30人 締切:3月4日(月) 受講料:無料

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 空調設備により常時換気を実施しています。
- 休憩時間等には換気をすることがあります。
- マスクの着用については、個人の判断に委ねますが、福祉・介護関係者の参加も多いことから研修中はマスクを着用することを推奨します。
- 消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めています。

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

●福祉従事者向け研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

令和5年度 社会福祉史の市民講座●受講料無料

社会福祉法人大阪社会医療センターの開設と歴史について

日時／2月17日(土) 14:00～16:00

講師／大阪社会医療センター付属病院 精神保健福祉士 奥村 晴彦 氏

社会福祉法人大阪社会医療センターは、あいりん地域(釜ヶ崎)において、不安定な就労状況や経済状況にある方々に必要な医療と福祉を提供することを目的として、昭和45年(1970)年に財団法人として設立されました。

設立時より『無料低額診療施設の経営』『医療・福祉に関する相談及び支援』『社会医学的調査研究』を3つのミッションに掲げ、経済的理由などで受診できない人に対して医療を提供するとともに、相談・支援を実施。地域の状況を調査研究し、生活環境からも患者の総合的な把握を行ってきました。これらの取り組みは、あいりん地域の社会医学的調査を精力的に実施し、毎年報告書を公表する中で、あいりん地域対策の方向付けにも大きな功績を残しました。

また、初代病院長である本田良寛医師は日雇労働者への献身的な医療従事ぶりで「昭和の赤ひげ先生」と慕われ、医療費を払えない患者に対して「ある時払いの催促なし」という方式の診療体制を構築しました。本講座では、あいりん地域において、大阪社会医療センターが果たしてきた役割と歴史について学びます。

- 会場・問合せ先／大阪市社会福祉研修・情報センター 4階 会議室
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201
- 定員／40人(先着順)
- 対象者／大阪市内在住・在学・在勤であればどなたでも参加可能
- 申込方法／センターホームページもしくは電話にて受付
- 申込締切／2月7日(水) 17:00必着 ※定員に達し次第締切



あいりん総合センター内旧病院



新病院外観



本田良寛医師

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

利用者・家族に伝わるケアプランの書き方 ケアの質がぐっと上がる6W5H1R

高室 成幸 著 中央法規出版 2023年
ケアプランを「具体的に」「わかりやすく」書くために必要な要素である6W5H1Rについて、一つひとつ丁寧に解説。また、アセスメントシートやケアプラン、モニタリングシートで利用するときにポイントとなる考え方や書き方を図解や例示とともに紹介。具体的にわかりやすいケアプランの書き方の決定版!



あなたが独りで倒れて困ること30 1億「総おひとりさま時代」を生き抜くヒント

太田垣 章子 著 ポプラ社 2023年
2025年には6世帯に1世帯が一人世帯になり、最後はみんな「おひとりさま」。「人生100年時代における家族に頼らないおひとりさまの終活」を支援している著者。「尊厳信託」という見地から、頼るべき親族がない高齢者のサポート事業の現場での経験から選り抜かれた30のリスクとその対策をまとめた一冊。



対人援助職のための相談支援スキル図鑑 イラストと図解でよくわかる

下園 壮太 ほか 著
中央法規出版 2023年

援助職が相談支援の場で活用できるスキルを、わかりやすい文章とイラストで解説。相談者との関係性を構築するためのスキルから、感情をケアするスキル、相手の悩み・苦しみを減らしていくためのスキルまで、さまざまなスキルを身につけ、現場で実際に使うためのコツも学べる一冊。



個別避難計画作成とチェックの8Step 災害対策で押さえておきたい個人情報の活用と保護のポイント

山崎 栄一 ほか 著
ぎょうせい 2023年

ベースとなる「避難行動要支援者名簿」をもとに作成する個別避難計画をどのように活用して防災につなげていくのか、同時期に大幅に改正された個人情報保護法にある個人情報の活用をどう反映させていくかが課題に。災害対策に個人情報活用の重要性を加えた唯一の書!



DVD紹介

新・発達障害の理解と支援 ショートバージョン

アローウィン 23分 2023年

ドラマ仕様のよく見かける事例を介して、子どもがなぜそのような行為・行動を行うかという多くの原因の提示と支援方法を解説。

- A. IDD 知的障害(知的発達障害)/知的発達症
- B. CD 言語障害(コミュニケーション障害)/言語症
- C. ASD 自閉スペクトラム症 D. ADHD 注意欠如・多動症
- E. LD 学習障害/限局性学習症 F. DCD 発達性協調運動症



ばけますから、よろしくお願ひします。 ～おかえりお母さん～

フジテレビ 101分 2023年

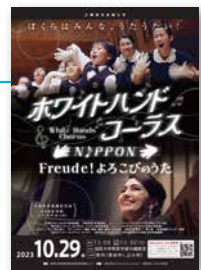
前作で始まった介護生活の、その後を描く。2018年、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症。病状は深刻化していく。そんな中、新型コロナが拡大し…。認知症とともに生きることの大変さや家族の苦勞、高齢化社会の問題を浮き彫りにしながらも、幸せな夫婦の姿を家族ならではの視線で映し出す。



ホワイトハンドコーラス NIPPON Freude!よろこびのうた

さわかみ財団 124分 2023年

視覚や聴覚に障がいを抱えた子どもたちや障がいを持たない子どもたちも参加する「ホワイトハンドコーラス NIPPON」。合唱の声隊と手話言語をベースに歌詞を「手歌」で歌うサイン隊の二つの部隊で編成されている。そんな彼らが、プロのオーケストラとベートーヴェンの「第九」に挑戦。3カ月に及ぶ稽古、そして感動の本番までを記録したドキュメンタリー作品。



アニメでSST 知的障がい 発達障がいのわかりやすい コミュニケーションスキル 第1巻 職場編

ウィルハーツ 68分 2023年

知的障害のある人の雇用や就労継続のためには、職場でのコミュニケーションスキルが必要。知的障がいのある人でも馴染みやすく学習しやすいポイントを当事者目線でまとめたアニメーション教材。



図書・資料閲覧室の開館時間を延長しています!

毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください!

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉の関係の雑誌などが充実しています。)



開室時間／月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

貸出期間／2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格／貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

休室日／日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



大阪市で実施する「こころの健康」に関する相談事業のご案内

大阪市在住の方を対象に、次の相談事業を実施しています。
ひとりで悩まず、ご相談ください。



大阪市こころの健康センター

♥こころの悩み電話相談 専用電話▶ ☎06-6923-0936

専門の相談員が、気分の落ち込みや不安など、こころの健康に関する相談をお受けします。
*月～金曜日の9時30分～17時(祝日・年末年始を除く)

♥こころの健康相談統一ダイヤル 専用電話▶ ☎0570-064-556

「つらい…」 「どうしたらいいのかわからない…」 そんな気持ちのときには、ぜひご相談ください。
*月～金曜日の10時～17時(祝日・年末年始を除く)

♥自死遺族相談 予約電話▶ ☎06-6922-8520

大切な人を自死で亡くされた方を対象に、臨床心理士が面接(予約制)によりお話を伺います。
*月～金曜日の9時～17時30分(祝日・年末年始を除く)

♥ひきこもり相談 専用電話▶ ☎06-6923-0090

「ひきこもり」に関することで悩んでおられるご本人やご家族などからのご相談をお受けします。
精神科医による専門相談は予約制です。(電話相談後、必要に応じて面接等を行います)
*月～金曜日の10時～17時(祝日・年末年始を除く)

♥思春期関連問題相談

不登校、人目を気にして外出を嫌がるなど、思春期特有の問題について悩んでおられるご本人やご家族などからのご相談をお受けします。精神科医による専門相談は予約制です。
お住まいの区保健福祉センター(下記参照)にて、相談や専門相談の予約を受け付けています。

♥依存症相談 専用電話▶ ☎06-6922-3475

アルコール・薬物・ギャンブル等の問題について悩んでおられるご本人やご家族などからのご相談をお受けします。精神科医による専門相談は予約制です。(電話相談後、必要に応じて面接等を行います)
*月～金曜日の9時～17時30分(祝日・年末年始を除く)
各区保健福祉センターでも相談をお受けしています。

〈各区保健福祉健康センター〉 ■精神保健福祉相談

精神保健福祉相談員や保健師が、こころの健康に関する相談をお受けします。
必要に応じて精神科医師による相談(予約制)もお受けします。
問合せ▶ 各区番号4ケタ●●●●-9968(●●●●の部分にお住まいの区の4ケタ番号を入れておかけください。)
受付時間▶ 月～金曜日の9時～17時30分(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

北 区	6313	都 島 区	6882	福 島 区	6464	此 花 区	6466
中 央 区	6267	西 区	6532	港 区	6576	大 正 区	4394
天王寺区	6774	浪 速 区	6647	西淀川区	6478	淀 川 区	6308
東淀川区	4809	東 成 区	6977	生 野 区	6715	旭 区	6957
城 東 区	6930	鶴 見 区	6915	阿倍野区	6622	住之江区	6682
住 吉 区	6694	東住吉区	4399	平 野 区	4302	西 成 区	6659

〈大阪市こころの健康センター〉

大阪市都島区中野町5-15-21 都島センタービル3階 ☎06-6922-8520

今月の自助具／ペイントローラー延長ホルダー(3Dプリンター活用)

主な適応疾患・対象者▶ 手に保持力がなく、また、手先の角度を自由に
変化させることができない人

〈機能・特徴〉

- 使用者の手とペイントローラーとの距離に合わせて、ペイントローラーを安定して保持できる

〈使い方〉

- ホルダーはT字型をしているため、ペイントローラーをねじ込んで、ローラーの方向を合わせる。次に、手でT字型になっている持ち手部分を持ち、ベルトで手に固定して使用する



資料提供・問合せ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎ ☎06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

立ち・座りを安全に

インテリアになじむ、
おしゃれなデザインの
置き型手すり



●サムリングCKM-02

ソファやベッドからの立ち上がり補助をはじめ、立位保持・動作補助に使用できます。部屋や廊下に置いて、壁付け手すりまでの歩行補助にも使用できるスタンダードタイプです。

洋式便所での
座ったり、立ったりが安全に



●タテマース

手すりの取っ手を持つことによって、自然にバランスよく体重の移動ができ、安全で楽に立ち座りができます。消臭抗菌材を練り込んだすべり止めベースシート。

段差の大きい玄関の
昇降を安心・安全に



●上がりかまち手すり

手すりの両端に水平部を設け、段差の昇降動作を安全に。また、手すり部全体に滑りにくく安心のエラストマーを採用。木製玄関台と合わせて使うと昇降動作がより安定します。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会
介護情報・研修センター福祉用具展示場

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15

大阪府社会福祉会館1階

☎・☎06-6763-1480

☎ https://kansil.jp

ウェルおおさか はーとフェア2023 を開催しました

日時:12月9日(土) 10:45~15:30

会場:大阪市社会福祉研修・情報センター

12月9日(土)に、福祉・介護のイベント「ウェルおおさかはーとフェア」を当センターにて開催しました。

今年は「見て、知って、体験しよう」をコンセプトに、フリーキャスター 駒村多恵さんの講演、きらめき大賞&映画上映会、福祉・介護の展示・体験コーナー、実験や工作コーナー、ミニステージ、クレープやたこやきの飲食コーナーなど、大人から子どもまで楽しめる盛りだくさんの内容でした。当日は気候にも恵まれて、多くのみなさまにご参加、ご協力をいただき1日大盛況でした。

改めまして、ご来館いただいた皆様ありがとうございました。

来年も12月に開催予定です。みなさまのご参加をお待ちしています。



チラシが作りたい
パンフレットが作りたい
カタログが作りたい
...でも、どうやって作ったらいいの

それ、アド・エモンに
おまかせください

納得のご予算で

企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、あなたのイメージを
トータルでカタチにします。
下記まで気軽にご相談ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL:(06)6358-1010 FAX:(06)6358-1011 E-mail:info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市
社会福祉研修・情報センター

**X (旧Twitter) を
チェック!**

研修の告知・研修のレポート報告
普段のスタッフの様子、知って得する豆知識など
さまざまな情報を発信します!!

https://twitter.com/wel_osaka



フォローお願いします!!

正見 夢さん(令和4年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 中学生の部 佳作)